

赤十字 NEWS

http://www.jrc.or.jp

OCTOBER 2017

NO.929

10

平成29年10月1日(毎月1日発行)
赤十字新聞 第929号
昭和24年9月30日 第三種郵便物認可

「役に立ちたい
その気持ち
があれば」



甲府市総合防災訓練で、デモンストレーションを行う日赤山梨県支部のバイク奉仕団（甲府市立玉諸小学校校庭にて）

CONTENTS

FEATURE__2

好きなことで社会に貢献する
“特殊奉仕団”
特技を生かして、
誰かを支える

TOPICS__4

九都県市合同防災訓練
米軍・自衛隊・DMATと日赤救護班
災害時医療の連携を訓練

あなたの手から“いのちのバトン”
10月は骨髄バンク推進月間

赤十字看護師養成機関 入学生募集

Column

[とっさのとき、どうする?]
幼児の誤飲

AREA NEWS__6

神奈川/栃木/静岡/長野/
京都/愛媛/大分/鹿児島

Column

[健康豆知識]
こむら返り

WORLD NEWS__8

南アジア水害支援
インド・ネパール・バングラデシュ
過去40年で最悪の洪水被害

赤十字ボランティア精神の起源は、
1859年、イタリア統一戦争の激戦地における、
敵・味方の区別なく行われた
アンリー・デュナンと村人たちによる負傷兵への救護。
それから約160年がたつ今も、
「苦しんでいる人を助けたい」という思いの下
世界各地で赤十字ボランティアが活動しています。
日本赤十字社の活動も、
1877年の西南戦争で佐野常民らが行った自発的な救護活動が始まりでした。
その10年後の「篤志看護婦人会*」創設以来、
日赤の人的活動は全国のボランティアに支えられています。

*傷病者のために看護法を学び、包帯作りなども行ったボランティアの婦人会



赤十字新聞 編集・発行/日本赤十字社 広報室
〒105-8521 東京都港区芝大門 1-1-3
TEL: 03-3438-1311
一部 20円
赤十字新聞の購読料は会費に含まれています。

人間を救うのは、人間だ。

 **日本赤十字社**
Japanese Red Cross Society



バイク奉仕団

好きなことで社会に
貢献する”特殊奉仕団“

特技を生かして、 誰かを支える

日本赤十字社には約126万人のボランティアが登録し、さまざまな活動を行っています。明治時代に始まった赤十字の奉仕活動は全国に広まり、戦後になって3種類の「奉仕団」が誕生しましたが、その一つである「特殊赤十字奉仕団」は、特技や専門的な技術などを提供しています。今回は多彩な特殊赤十字奉仕団の中から、「特殊味や職業、得意分野の知識などを生かしたユニークな活動を」紹介します。

災害時に運ぶ・伝える「災害」

災害派遣救援隊V・Sやまなし

大規模災害時の先遣隊として活躍する「救援バイク隊」。「災害派遣救援隊V・Sやまなし」は、総勢120人が所属する日赤最大のバイク奉仕団です。車より燃費が良く、小回りの利く二輪車が阪神・淡路大震災で活躍したのを受け、その翌年、日赤山梨県支部と山梨県二輪車普及安全協会が各地に先駆けて設立しました。震度6以上の地震が山梨県で発生すると、救援隊V・Sやまなしの団員は集結。災害時の迅速な被災状況の把握と伝達を、バイクに搭載した無線機を駆使して行うのです。

東日本大震災においては、地震の2カ月後に、8人の団員が交代で宮城県気仙沼市に入り活動をスタート。その任務は、現地ボランティアの身体的・精神的ケアや物資のニーズを調査して、的確な支援につなげることでした。

現地では、被災者から「赤十字のマークを見るだけで安心する」と声を掛けられたり、隊員への感謝の気持ちから自宅浴室を開放してくれる被災者もいたりなど、歴史ある赤十字の一員として活動する重みを改めて感じたといえます。多くの団員がこのボランティア活動にやりがいを見だし、日赤のバイク奉仕団としての誇りを持って参加していました。

今後の活動について委員長の西谷裕司さんは、「災害時のバイク隊の存在意義は大きく、趣味のバイクで社会貢献できるのはうれしい。全国に日赤のバイク隊が増えると思う」と話しました。災害時に最も大切となる団員のチーム力を養うため、年2回の訓練で団員同士の交流を深め、「いざ、その時」に備えています。



(上) 東日本大震災後の気仙沼での活動。地図にある道は、がれきでふさがれ、何度も引き返しながら通れる道を探し、救援ロードマップを作成した
(下) バイクに搭載した無線機で各地の支部と交信しながら活動

団員の声

“完全自己完結”と“気遣い”の成熟した意識でボランティア活動を

東日本大震災では、目印となる建物などを失った気仙沼の救援ロードマップ作りを担いました。

私は、阪神・淡路大震災から、バイクでの災害ボランティアを続けています。誰の世話にもならない「完全自己完結」の支援は当たり前。準備不足のために、支援を受ける側に陥ってはいけません。同時に、被災者の前では食事をしないなどの配慮も重要です。この奉仕団の創設メンバーとして、そうした支援者のモラルを伝えることも自分の使命だと思っています。



藤田部司さん(55歳) 隊員歴21年 ジュエリーデザイナー

いやしのケア赤十字奉仕団「なごみ」/大寿園赤十字奉仕団「むくの木」



癒やし奉仕団

心身を癒やして高齢者を笑顔に「福祉」

平成10年に福岡県で設立した、いやしのケア赤十字奉仕団「なごみ」は、病院やホスピス、高齢者施設などで、癒やしのケア、ハンドケア、傾聴などを行っています。九州北部豪雨の避難所でも、被災者の手や肩、背中などをなでてケアを行い、「疲労が軽減した」と喜ばれました。癒やしのケアにとって大切なのは、「なでる技術よりもお話を聴く技術です」と、庄野まり子委員長。手のぬくもりを感じてもらいながら話を聴くことで、心身の癒やし効果が高まるのだといいます。

特別養護老人ホーム大寿園(福岡県)で活動する赤十字奉仕団「むくの木」の委員長でもある庄野さんは、月に1度、大寿園を訪れ、美容職の経験を生かして女性に「お誕生日メイク」も行っています。

メイクを施してきれいになると、何歳になっても女性は喜んでくれるのです。庄野さんはやりがいを「癒やし合えること」と語ります。喜んでもらうことが励みになり、団員たちが活動を続ける意欲と人生のハリにもなっています。



(上) 庄野さんのハンドケアでお互いに笑顔
(下) メイクは口紅から開始。明るくなった顔を鏡で見て、意欲を高めてから次のメイクへ。気分の変わりやすい高齢者には、気持ちを持ち上げながら次々とするのがコツ



朗読奉仕団

全国表彰を受けた影浦さんは活動歴約38年。一語一句に思いを込めます

目が不自由な方の喜びのために「福祉」

朗読奉仕団の主な活動は、視覚障害がある方々のための「録音図書」の制作です。本を朗読してCDに声を吹き込み、編集・校正まで自分たちの手で行っています。昭和46年に創立された苫小牧市朗読赤十字奉仕団の影浦泰子さんは、日赤主催の朗読講習会への参加がきっかけで入団しました。「いつの間にか夢中になり、朗読一筋になっていました」と話す影浦さんは、今年、優れた朗読奉仕者として全国表彰を受けています。朗読の魅力は、「さまざまなジャンルの本を担当するため、知らないことをたくさん学べる」ところ。

視覚障害者のニーズを満たすため、奉仕団員の一人一人が、朗読の技術や手法の勉強を欠かさず、熱意を持って活動しています。



通信奉仕団

年に2回、災害の状況を細かく想定して通信訓練を行い、防災に備えます

災害時の通信を支える「災害」

アマチュア無線技士の免許保有者が結成するアマチュア無線赤十字奉仕団は、交通事故の際の情報伝達など、携帯電話がなかった時代から活躍してきました。災害時の無線による救助や通信連絡を最大の任務とし、一般の方々への講習も行っています。約870人が所属する宮崎県アマチュア無線赤十字奉仕団の委員長、香川征治さんは、昭和44年の結団当初から活動に携わり、通信訓練や講習会の指揮を執っています。訓練時以外にも常に無線を使える状態を維持。各地区での無線チェックに若手を巻き込み、後進の育成にも積極的です。災害時救援赤十字奉仕団などとも協力して活動しており、「防災時に役立つ横の連携をより強めていきたい」と語っています。

宮崎県アマチュア無線赤十字奉仕団

赤十字飛行隊



熊本地震災害で救援物資を届ける赤十字飛行隊熊本支隊

空からの機動力で被災者を救護「災害」

赤十字飛行隊は、航空機を使用して日本赤十字社が行う災害救護など、人道的な業務に無償で協力することを目的として昭和38年に結成された特殊奉仕団です。日頃から機体管理、操縦訓練などを確実に、各関係機関との合同訓練へ参加。災害時に隊長・支隊長の判断ですぐに出勤できるのが特徴です。

赤十字語学奉仕団



21カ国のコースが参加した赤十字防災ワークショップで通訳活動(都内)

言語の壁という障害をなくす「福祉/災害」

赤十字語学奉仕団は、昭和39年の東京パラリンピックでの通訳ボランティアを母体として、翌年に設立されました。以来、主に英語のスキルを生かして、文書や資料、東南アジアの国々の子どもたちへの絵本の翻訳、障害者の支援観光ウェブサイトを(日・英)の運営などを実施。結成当初の目的であった障害者のための通訳以外にも、活動の幅を広げています。

愛知県柔道整復師会災害救護赤十字奉仕団



「アイアンマン70.3」レースにてランナーの救護・整体ケアを行う奉仕団

緊急時の体の痛みを取る「福祉/災害」

大規模災害時、日頃の職務を生かして医療の一端を担おうと平成17年に結成。約840人が所属する県内最大で唯一の団体です。名古屋ウィメンズマラソンなどの救護トレーナーとして協力するほか、愛知県名古屋・岡崎市などと災害時の救護活動に関する協定を結び、地域の訓練に参加。将来に向け、災害対策・救護活動などボランティア活動に力を入れています。



日赤のボランティア活動についてのお問い合わせは、お住まいの都道府県の日本赤十字社各支部へ。皆さまのご参加をお待ちしております。

米軍・自衛隊・DMATと日赤救護班 災害時医療の連携を訓練



防災週間にあたって、毎年、首都圏の一都三県と政令指定都市による「九都県市合同防災訓練」が実施されています。その一環として、9月1日、神奈川県小田原市の酒匂川スポーツ広場を主会場とする「平成29年度 神奈川県・小田原市合同総合防災訓練<ビッグレスキューかながわ>」が行われました。中央会場で行われた医療救護訓練に、DMAT(9チーム)、秦野赤十字病院、神奈川県赤十字血液センター、神奈川県山岳赤十字奉仕団、横須賀米海軍病院、在日米陸軍、在日米空軍のスタッフが参加。米軍や自衛隊と連携し、“言葉の壁”を超えた災害時医療の連携について実践確認しました。

訓練の目的は、大規模災害時における自治体と防災関係機関の相互連携強化、広域応援体制の確立、地震や津波などの県域特性に応じた災害対応力の向上。中央会場の訓練は「関東大震災級の類似地震/最大震度7」を想定し、救出救助、ライフライン復旧、医療救護活動、住民参加型などのテーマ別に訓練を展開しました。

日赤が参加した医療救護活動では、救護班がトリアージ(傷病レベル分別)した傷病者を搬送して応急処置を施す訓練を行い、血液供給要員は、救護所からの要請に基づき血液製剤の搬送を実施。日赤神奈川県支部では、こ

れまでも在日米軍、自衛隊と共同で防災訓練に参加してきましたが、今年はより実態に即した訓練を目標に行われました。そのため、救護に当たっての方法など「国や組織による違い」によって起こり得る事態を確認し、今後の連携強化につなげていくことがポイントとなりました。



自衛隊の搬送方法を共有する神奈川県山岳赤十字奉仕団。「災害時に協働が考えられる他団体との合同訓練はとても大切。日頃から基本的な搬送訓練を行いたい」

訓練で得た課題を今後に生かす

救護訓練は、傷病者がトリアージエリアに運び込まれた設定でスタート。前半は傷病者と医療スタッフを日米分けた状態で行いましたが、それでも戸惑いが生じました。自衛隊と日赤、米軍では担架搬送の方法が微妙に異なること、日本語表記のトリアージタグと米軍医療班が日頃使用するトリアージタグの表記や仕様が異なることも発覚。解決法が話し合われました。

訓練の後半は、傷病者や医療者の間に日米

スタッフを混在させ、さらにコミュニケーションの難度を上げた状態で再開。前半に生じた問題はクリアされましたが、高い言葉の壁による課題が明らかに。「日本国内の災害救護に米軍が参加した際、被災者の大半は日本人となるが、傷病の訴えを理解するのは非常に困難なことだと実感できた。起こり得る災害に備える良い訓練だった」という米海軍のファン中尉の指摘をはじめ、それぞれが感じた課題を提起しました。

初参加の秦野赤十字病院の看護師・宮崎芽衣さんの感想は「外国人の方は痛いところを大きく表現してくれるので分かりやすい。けれど、細かい意思の疎通ができず戸惑った。今回感じたことを仲間に伝え、一人でも多くこのような実践的な訓練を体験してほしい」。参加者たちは、「この訓練を踏まえ、災害時に起こり得ることを予測する視点を持つことができた」と、成果を語りました。



診療テントでは、日米スタッフ間で情報のやりとりをする姿も



アメリカ人傷病者役の救護に当たった宮崎看護師。「英会話レベルを向上させる必要性を痛感しました」
当日は、安倍首相、小野寺防衛大臣、黒岩神奈川県知事も訓練を視察



神奈川県赤十字血液センターから、診療テントの海上自衛隊スタッフに届けられた血液製剤



傷病者と仮想したアメリカ人に、症状などを聞き取り

あなたの手から“いのちのバトン”

10月は骨髄バンク推進月間です

白血病などの血液疾患には、「骨髄」や「末梢血幹細胞」(「造血幹細胞」)の移植が有効な治療法の一つです。そのためには、善意の提供者(「ドナー」)の存在が不可欠。いのちのつなぎ手となるドナー登録者を集め、血縁関係のないドナーから患者さんへの移植の橋渡しを行うのが、「骨髄バンク」です。

日赤は、国から造血幹細胞提供支援機関の指定を受け*、全ての献血ルームでドナー登録を受け付けているほか、ドナー登録者に必要な検査や個人情報の管理、患者さんとのマッチングのためのデータ検索などを行って骨髄バンク事業を支えています。

平成29年8月末現在でドナー登録者は約48万人。けれども、年齢超過などの理由で年間約2万人が登録取り消しとなります。「骨髄バンク推進月間」の10月には、全国の献血会場で、骨髄バンクドナー登録会を開催しています。一人でも多くの患者さんに移植の機会が確保されるよう、骨髄バンクにご登録をお願いします。

移植を待っている患者さんの数は
年間
2000人以上

移植実施数
1250件
(2016年度)

ドナー登録は
18歳以上 54歳以下



「マンガで学べる骨髄バンク・さい帯血バンク」

骨髄バンクやさい帯血バンクって難しそう…と思うあなたに、2冊のマンガ「ぞうけつおかん」「骨ずい移植「ドナー」ってなに？」がおすすめ。バンクや移植などについてわかりやすく解説しています。

▼デジタルパンフはこちらをチェック▼

http://www.bmdc.jrc.or.jp/pamphlet/generalpublic_p.html

b m d c

検索

*平成26年施行の「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」による

こころと技術を育てる、赤十字の看護教育

赤十字看護師養成機関 入試日程が決定



患者さんと目を合わせ、心をこめて訪問看護

全国の赤十字病院をはじめとする日赤の施設では、約3万7000人の看護師が働いています。また、日赤の看護師は、国内外を問わず、紛争や災害の現場で救護活動に当たるなど、赤十字の特色を生かして社会に貢献しています。

日赤は120年以上にわたって看護師養成を行ってきました。現在、看護大学6校、看護専門学校16校で1315人の学生を育成しており、これも日赤の大切な事業の一つです。「一人一人の患者さんを大切に」という赤十字看護の理念に基づき、「一人一人を大

切に育てる」という教育環境で勉強した卒業生たちは、世界でも高い評価を得ています。

大切に育てられた経験が、手厚い看護につながる——。災害医療を学ぶ「災害看護論」などの特徴的な授業も行う赤十字看護大学・専門学校が、平成30年度入学生を募集します。



2015年に発生したネパール地震の際、緊急対応医療班(ERU)の一員として活躍する看護師

▼入試日程はこちらから▼

大 学 : <http://www.jrc.ac.jp/exam.html>
専門学校 : <http://www.jrc.or.jp/activity/nurse/news/pdf/2018gakusei.pdf>

大学



専門学校



「とっさのとき、どうする?」は切り取って保存していただけます

file.5

とっさのとき、どうする?

幼児の誤飲

日本は、先進国の中でも幼児の誤飲事故が多いことをご存じでしょうか。

3歳児でも、トイレットペーパーの芯を通る大きさなら何でも飲み込みます。まず大切なのは予防です。子どもの手が届く範囲には、飲み込む恐れのある物を置かないようにしましょう。

万が一、タバコや薬品、ボタン電池などの危険物を誤飲してしまったら、自己判断で吐かせたり水を飲ませたりせずに、救急車を呼びます。

異物を喉に詰まらせた場合は、自発的な咳を促した上で、次を実践してください。

(1) 咳で異物を除去できた

容体を見守り、その後医療機関を受診する。

(2) 咳ができない、または咳はしたが異物が除去できない

救急車を呼び、右図の「背中をたたく方法」「上腹部(胸部)を圧迫する方法」を交互に行う。

誤飲の瞬間を目撃していなくても、「様子が急変した」「ヒューヒューという呼吸音がする」などの症状があれば、誤飲の可能性があります。すぐに救急車を呼び、飲み込んだ物が危険物ではないか、現場の状況を確認しましょう。



・背中をたたく方法

図のように幼児を抱き、大腿部で支え手掌基部(手の平の付け根)で肩甲骨の間をたたく



・上腹部を圧迫する方法

図のように後ろから手を回し、一方の手で握りこぶしを作り、上腹部に当て圧迫する

* 詳細は赤十字幼児安全法講習をご受講ください。受講のお問い合わせは、日赤の各都道府県支部へ

AREA NEWS

AREA NEWS

日々の生活や未来を支援するために。
全国各地、あなたの生活のすぐそばで、
日本赤十字社の活動は行われています。

神奈川県

警察官に水難訓練
市民も自分も守る水上安全法

8月3・10・14日、神奈川県浦賀警察署が水上安全法短期講習を市内の漁港で開催。警察官49人が参加し、水難の現場に居合わせた際に溺者を安全に救助する方法を学びました。

指導は、県警職員と日赤職員が担当。制服を着用した状態での落水体験や、装備品を水中で外す方法など、実践的な練習を通して、溺者と自身の命を守る方法をレクチャーしました。



防刃チョッキなど、警察官ならではの装備品を水中で外す訓練

栃木県

ハローワークと連携
がん患者さんにきめ細かな就職支援

2017年度より、那須赤十字病院はがん患者さんへの就労支援を行っています。宇都宮公共職業安定所と「長期療養者等支援事業」協定を結び、相互の情報を共有。治療と並行して無理なく務められる職種や事業者を絞り込むなど、就活を支援しています。患者さんの就労ニーズに気付き、明らかにしていく試みは、「安心して就活に臨める」と好評をいただいています。



就職相談では院内スタッフがきめ細かく対応

愛媛県

蛇口からみかんジュース！
「ふるさとおかえり献血」を開催

8月10～14日までの5日間、愛媛県赤十字血液センターは「ふるさとおかえり献血」を開催。夏休みで観光客が増えるこの時期、愛媛ならではのおもてなしにと「蛇口からみかんジュース」を献血者に振る舞いました。

期間中約50リットルのジュースを提供。帰省や観光で愛媛を訪れた方からは「珍しい体験ができた」と大変好評でした。



都市伝説としても有名な「蛇口からみかんジュース」にご満悦

長野県

男性看護師の現状を知る機会に
看護専門学校で初の男子限定説明会

男性看護師の必要性や職場の現状について知ってもらおうと、8月26日、諏訪赤十字看護専門学校で男子限定のオープンスクールが開催されました。同校初の試みに、地元の高中生ら8人が参加。男子在学生在や諏訪赤十字病院で働く男性看護師が、学校生活や仕事内容を紹介。参加した生徒は、「男性看護師の必要性を学べる良い機会となった」と話しました。



座談会では在学生や看護師に疑問や不安を質問

京都府

同世代の仲間と
エイズを考えるリーダーを養成

京都府支部は7月29・30日、あうる京北にてHIV/AIDSピア・リーダー養成研修会を開催。近畿を中心に中四国・九州から17人の青年赤十字奉仕団員が参加。研修会の目的は「ピア・エデュケーション*」によるHIV/AIDSの予防・啓発活動を推進するリーダーの養成。受講者は今後、各地域のリーダーとして、同世代の仲間と共にエイズについて考える役割を担います。



*年齢が近い人同士で知識や情報を伝える手法

「知って良かった！健康豆知識」は切り取って保存していただけます

日赤のドクター&ナースが教える

知って良かった！

健康豆知識



「こむら返り」はストレッチで防ごう！

伊達赤十字病院 神経内科 松岡 健 北海道伊達市末永町81 TEL 0142-23-2211(代)

こむら返りとは、ふくらはぎの神経が過度に緊張して、筋肉が縮まり戻らなくなった状態を指します。横になっている体勢で最も起こりやすく、発症するタイミングは「夜」という人が約9割。頻繁に起こると、寝不足から免疫力が低下することもあり、注意が必要です。

こむら返りを起こす最大の要因は、水分や塩分などのミネラルバランスの崩れです。むくみがひどくなりがちな妊娠時や、脱水症状を起こしやすい高齢者の約半数が経験しており、利尿剤を服用中の人や、水分の摂取量が限られる血液透析中、尿量が増える糖尿病の患者さんも、

* 横から見ると膝が180度以上に反りかえっている状態のこと。

同様の理由で発症しやすい傾向があります。

また、へんぺい足や反張膝^{はんちようひざ}、運動のし過ぎや立ち仕事をしていることによる「ふくらはぎへの負荷」が、こむら返りの引き金となることもあります。

予防には、利尿作用のあるアルコールやカフェイン類を避け、寝る前にストレッチをすることがおすすめです。床に座り、膝を伸ばした状態で足先をつかみ、かかとを突き出すように足首を手前に曲げるストレッチは、予防だけでなく、こむら返りを素早く解消するのにも有効です。ぜひ試してみてください。



足先をつかむことが難しい場合は、立ち上がり、足首が90度の状態になれば同様の効果が得られます

file. 39

京都府 鹿児島県 静岡県 大分県 神奈川県

各地で防災に関するイベントを開催

「防災の日」である9月1日を中心として、各都道府県支部は防災に関する講習やセミナーを行いました。

京都府支部と鹿児島県支部は、親子で一緒に学べる防災イベントを開催。京都府支部は、7月29・30日に行われた京都府主催の防災キャンプ2017in京都(北部会場)で、災害時に命を守る方法を学習できる「いえまですごろく」をレクチャー。鹿児島県支部は9月10日、小学生の親子を対象とした親子防災教室を開催。参加者は、炊き出しや非常食セットの制作などを体験しながら、防災について考えました。

静岡県支部と大分県支部は、地域のための防災訓練セミナーを開催。静岡県支部は8月22日、地域奉仕団員に向けて炊き出しの知識と技術習得のための講習会を実施。大分県支部は8月25日、ボランティアを対象に、災害図上訓練DIG*と非常炊き出し訓練のセミナーを開催しました。

神奈川県支部は9月1日、要援護者(障害のある子ども)を守るための防災教育授業を、保護者や教職員を対象に開催。青少年赤十字防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」を使い、災害時を想定し対処方法を考える機会となりました。

*災害図上訓練DIG:参加者が地図を使って防災対策を検討する訓練



「いえまですごろく」はゲーム感覚で防災意識を高める(京都府)



参加者からは「非常食セットの作り方が勉強になった」といった感想が(鹿児島県)



災害図上訓練DIGでは災害時支援が必要な方の家などを確認(大分県)

神奈川県

視覚障害者とボランティアの高齢化を見据えた認知症講習

8月30日、神奈川県ライトセンター(日赤が指定管理者として運営)が、「地域で支える認知症講習」を、視覚障害者と支援ボランティアを対象に開催しました。認知症とその予防、支援方法を正しく理解してもらうため、点字や音声の資料を制作。受講者からは「初めて知ることが多くあった」「自分にできる認知症支援をしたい」との声が聞かれました。



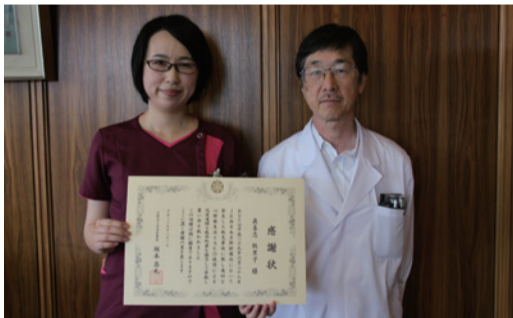
視覚障害のある受講者には、点字の受講証が授与されました

京都府

迅速な救命処置によって救われる命がある



6月28日、JR京都駅構内で心肺停止となった女性に対し、京都第二赤十字病院の眞喜志牧里子薬剤師(写真左)が、その場に居合わせた人たちと協力してAEDを使った救命処置を実施。心肺停止状態から救ったとして、京都市消防局下京消防署より感謝状が贈呈されました。迅速かつ適正な救命処置が、一人の命を守りました。



日赤は救急法講習を実施しています。詳細は各都道府県支部へ

常任理事会開催報告

平成29年9月21日、本社において平成29年度第5回の常任理事会が開催されました。

1. 予算の補正について
(愛知県支部の合同庁舎中央監視装置故障による修繕工事にかかる予算の補正)
審議の結果、原案のとおり議決されました。また、医療事業にかかる平成29年度第1四半期のグループ運営の進捗状況及び経営状況、予算の補正にかかる7月及び8月分の社長専決事項等の決定状況について、それぞれ報告しました。

present プレゼント

毎年好評の**赤十字カレンダー**と**赤十字手帳**セットで**5名様**にプレゼント!

発売中!

赤十字カレンダー 2018年版 (920円税込・送料別)
赤十字手帳2018年版 表紙は赤・白リバーシブル (350円税込・送料別)

〈お問い合わせ・ご注文〉
株日赤サービス TEL:03-3437-7516 FAX:03-3459-1432

希望者は、以下の項目を明記のうえ、郵送・FAX・メールでご応募ください。

- ①お名前(匿名をご希望の方は、その旨もご記入ください)
- ②郵便番号・ご住所 ③電話番号 ④年齢
- ⑤赤十字NEWS10月号を手にした場所(例/献血ルーム)
- ⑥10月号で良かった記事、興味深かった記事はどれですか?(いくつでも)
A. 特技を生かして、誰かを支える
B. 九都県市合同防災訓練
C. 骨髄バンク推進月間
D. 看護師養成機関 入学生募集
E. とっさのとき、どうする? F. エリアニュース
G. 健康豆知識 H. ワールドニュース
- ⑦赤十字NEWSのご感想、扱ってほしいテーマ、その他Voice(読者の声)への投稿もお待ちしております。

郵送/〒105-8521
東京都港区芝大門1-1-3 日本赤十字社
広報室 赤十字NEWS10月号プレゼント係
FAX / 03-6679-0785 メール/ koho@jrc.or.jp
(件名「赤十字NEWS10月号プレゼント係」)
10月30日(月)必着
※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます
※個人情報(読者の声)は賞品の発送のみに使用いたします

来場者募集中

赤十字シンポジウム2017

紛争下で狙われる医療支援
～ 救える命を、救いたい～



入場には事前のお申し込みが必要です。郵便はがき、FAX、インターネットのいずれかの方法でお申し込みください。

申し込み締め切り **はがき**: 2017年10月16日(月)必着
インターネット・FAX: 2017年10月16日(月)午後11時59分

詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.nhk-p.co.jp/redcross2017/>
※シンポジウムはすべて日本語で行われます。

NHK海外たすけあいキャンペーンの一環、「赤十字シンポジウム」が今年も開催されます。今回のテーマは「紛争地における負傷者の医療サービスへのアクセスの妨害」。紛争地で医療施設や医療従事者が攻撃されている現状を知り、何ができるのかを考えます。

日時
2017年10月28日(土)
開演:午後2時
(開場:午後1時30分)
終演:午後4時(予定)

会場
表参道ヒルズ
スペースオー
東京都渋谷区神宮前
4-12-10
表参道ヒルズ本館
地下3階

- コーディネーター**
ジョン・カピラ
キャスター・パーソナリティ
- スペシャルスピーカー**
マーチェイ・ポルコウスキ
Health Care in Dangerプロジェクト 統括/赤十字国際委員会(ICRC)パキスタン代表部
- パネリスト**
瀬谷ルミ子
認定NPO法人日本紛争予防センター(JCCP)理事長
JCCP M(株)取締役
- 古谷修一
早稲田大学大学院法務研究科教授 早稲田大学教務部長
- 村田慎二郎
国境なき医師団(MSF)前イエメン活動責任者
- 渡瀬淳一郎
大阪赤十字病院 国際医療救護部副部長・救急科部副部長

WORLD NEWS

WORLD NEWS

南アジア水害支援

南アジア全域では雨期に入ると毎年のように洪水が起きています。しかし今年は8月から続いた記録的な豪雨で、インド・ネパール・バングラデシュに大規模な洪水被害が発生。現地では1800人以上の赤十字スタッフとボランティアが、被害地域の地方自治体と協力して救援活動を展開。日本赤十字社も迅速な対応を行っています。

インド・ネパール・バングラデシュ 過去40年で最悪の洪水被害 二次被害を食い止めるため懸命の支援



大量の雨とネパールの洪水による水がインドのビハール州、ウッタル・プラデシュ州、西ベンガル州地域で、大規模な洪水を誘発



バングラデシュで約15万人、ネパールで約8万1000人、インドで約2万5000人が赤十字の救援を受けている

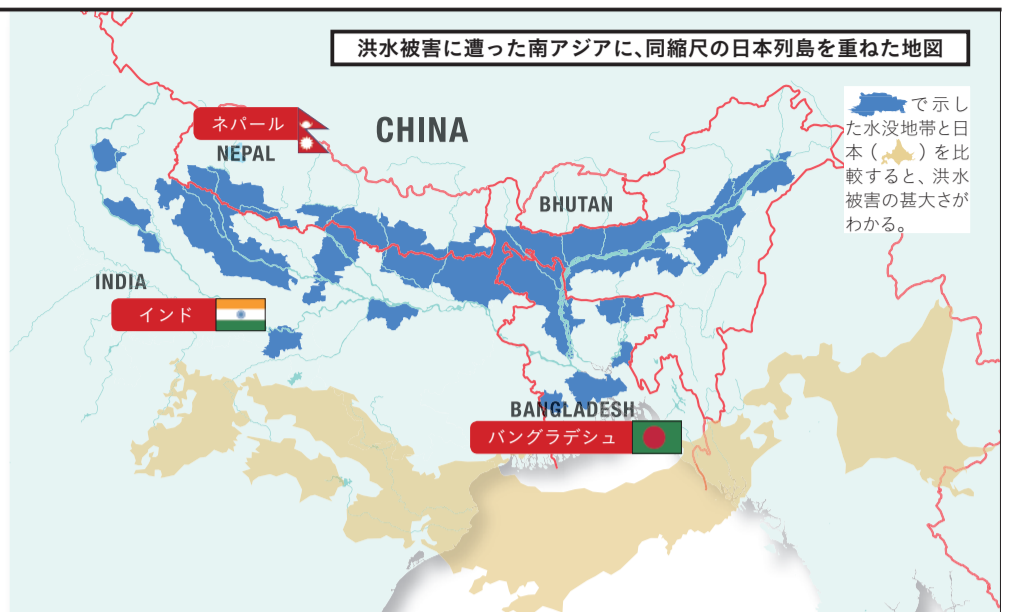
夏季に長雨をもたらすモンスーンの影響による南アジアの大洪水で、約4000万人が被災し、過去40年で最悪の被害をもたらしています。特に被害が深刻なインド、ネパール

では大規模な洪水と地すべりが発生、バングラデシュは国土の約3分の1が洪水に襲われました。これら3カ国で数百の村が壊滅的被害



ネパールでは道路や橋の寸断により、多くの地域がアクセス不能状態に。約46万人が家を失い、約21万軒の家が倒壊、半壊・一部破損(8月24日現在)

洪水被害に遭った南アジアに、同縮尺の日本列島を重ねた地図



バングラデシュでは国の北部から中心部にかけて被災し、66万2000軒の家屋が倒壊、半壊・一部破損し、4万7123もの井戸が洪水により汚染(8月23日現在)

害を受け、1200人を超える命が奪われました。人々は家を失い、井戸も汚染。作物や家畜が流されるなど生活基盤を失う大きな危機に直面しています。赤十字は被害発生直後から、災害対応に熟練したスタッフを現地に派遣し緊急支援を実施中です。

伝染病の危険性も増加し、安全な水の確保と衛生管理が急務です。赤十字の現地ボランティアは、刻々と事態が悪化する過酷な状況の中、腰まで水に漬かりつつも、避難誘導、水や食料、衛生キットの提供などを行い、住民らを励ましなが懸命に援助を続けています。

この非常事態に、日赤ではネパールに3000万円の資金援助を、バングラデシュには1000万円の資金援助と、家屋修繕のための工具・材料キット2000個(600万円相当)の物資援助を行うことを決定。引き続き、活動のための救援金を受け付け中です。皆さまの温かいご支援をお待ちしております。

2017年南アジア水害支援 救援金受け付け中

インド、ネパール、バングラデシュにおいて豪雨により発生した大規模な洪水や土砂災害は、長老たちでさえ「この規模の洪水は経験がない」と話すほどの脅威になっています。

国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)のジャガン・チャバガイン事務次長(事業担当)は、「コミュニティ全体が分断されてしまった村が多数あり、援助を得る方法はポートしかない。多くの村は食料を使い果たしており、事態は悪化する一方」と、一刻を争う状況を報告しました。

この事態に対し、日本赤十字社は右記のとおり救援金を受け付けています。ご寄付いただいた救援金は、被災者の食料や生活用品の確保、水と衛生などの緊急ニーズに応えるとともに、住宅再建支援などの中期的な復興再建計画の実施などに充てられます。

皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

■救援金名称 2017年南アジア水害救援金 ■受付期間 平成29年10月31日(火)まで

■協力方法 1. 郵便振替によるご協力(ゆうちょ銀行・郵便局)

口座番号 00110-2-5606 口座名義 日本赤十字社

※窓口でのお振り込みの場合は、振込手数料が免除されます

(ATMによる通常振り込みおよびゆうちょダイレクトをご利用の場合は、所定の振込手数料がかかります)

2. 銀行振込によるご協力

①三井住友銀行 ずずらん支店 普通 2787767 ②三菱東京UFJ銀行 やまびこ支店 普通 2105772

③みずほ銀行 クヌギ支店 普通 0623390

※ 口座名義はいずれも「日本赤十字社」 ※ ご利用の金融機関によっては、振込手数料が別途かかる場合があります

3. クレジットカード・コンビニエンスストア・Pay-easyによるご協力

詳細は日赤のウェブサイトをご覧ください。

日本赤十字社 救援金 2017年南アジア水害 検索